

1 はじめに

1-1 目的と適用範囲

「道路中心線形データ交換標準（案）基本道路中心線形編（以下、本書という）」は、国土交通省の道路事業に関する設計及び工事において電子納品成果として提出される道路中心線形の情報について、その内容及びデータ構造・形式を定めたものである。

道路中心線形データの円滑な交換によって、以下のような利活用を実現することを目指す。

なお、本書は建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会 道路中心線形データ交換標準検討 WG にてご意見をいただき策定したものである。

(1) 設計、工事の電子納品成果としての利活用

道路中心線形データは予備設計 B 以降ほぼ不変であり、工事完成後も保管すべき情報である。そこで電子納品成果（XML）としての仕様を定め流通させることにより、詳細設計、施工、維持管理業務の効率化と転記ミスの防止を図る。

(2) プロダクトモデル検討の基礎資料としての利活用

現在、道路の3次元形状を表現するプロダクトモデルが複数の機関から提案されているが、用途の違い等によりモデル全体の標準化は困難であり、実務での利用も進んでいない。そこで、各種のプロダクトモデルの最も基本的な共通要素である道路中心線形の3次元形状データを標準化することにより、プロダクトモデル検討の基礎資料を提案し今後の検討を活性化する。

(3) 将来の ITS での利活用

現在、デジタル道路地図は、カーナビでの経路誘導に用いられているが、将来的には地図の精度を向上させ走行支援に活用することが、ITS の取り組みでは1つの目標となっている。そこで、道路設計情報のうち ITS での利用に必要な最低限の情報を盛り込んだ形で標準化しておくことにより、将来の活用が期待される。

1-2 メタデータ

本書は、将来的にレジストリサービス等に登録することで、その普及を促進することを旨とする。現段階で登録に要すると思われるメタデータを以下に示す。

表 1-1 メタデータ¹

分類	名称	名称 (日本語)	メタデータ
Security Set セキュリティ	Security	セキュリティ	特に定めない
Resource Set リソース	Title Set	タイトル	道路中心線形データ交換標準 (案)
	Identifier	識別子	—
	Creator	作成者	国土交通省 国土技術政策総合研究所 高度情報化研究センター 情報基盤研究室
	Publisher	発行者	国土交通省 国土技術政策総合研究所
	Rights	権利	著作権所有者：国土交通省 国土技術政策 総合研究所
	Language	言語	ja
	Type	型	テキスト
Summary Content Set 要約	Subject	主題	道路中心線形
	Description Set	説明	目次および「1-1 目的と適用範囲」参照
Format Set フォーマット	Coverage	空間・時間範囲	空間範囲：jp 時間範囲：2006年以降
	Format	フォーマット	XML

¹ メタデータの項目は、Dublin Core および ISO11179 を参照するとともに、国内でサービス提供予定のレジストリサービスが定める項目を採用した。